

意見書案第15号

北朝鮮の核実験を厳しく抗議し対話で平和的に解決を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成29年9月19日提出

提出者

向日市議会議員

山田千枝子

杉谷伸夫

賛成者

向日市議会議員

米重健男

北朝鮮の核実験を厳しく抗議し対話で平和的に解決を求める意見書

北朝鮮は、9月3日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。北朝鮮は、「ICBM（大陸間弾道ミサイル）搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と主張している。

北朝鮮の核実験は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界のすう勢に逆らうものである。

1984年に「世界平和都市宣言」を行った向日市議会は、強い憤りをもって、この暴挙を糾弾し、抗議する。

日米両政府は北朝鮮に対し、軍事的手段を含むあらゆる圧力をかけるとしているが、軍事的な解決の道はない。現在の事態は、平和的な問題解決を願う世界の声に反して、米朝両国が互いに軍事挑発を繰り返してきたことの結果である。

8月29日の国連安保理議長声明は「対話を通じた平和的で包括的な解決」を加盟国に呼びかけている。従って、国際社会および日本政府に対して、米朝両国に直接対話をうながし、平和的・外交的な手段で核・ミサイル問題を解決するために、可能なあらゆる手だてをとることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月19日

京都府向日市議会